

Covid-19 vaccines and neurological complications: a systematic review

Covid-19 ワクチンと神経系合併症:システマティックレビュー

[Fakhri Allahyari¹](#), [Hamideh Molaee²](#), [Javad Hosseini Nejad¹](#)

PMID: 36087300

DOI: [10.1515/znc-2022-0092](https://doi.org/10.1515/znc-2022-0092)

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/36087300/>

抄録

COVID-19 は主に呼吸器疾患を引き起こし、感染率が高く、合併症発生率および死亡率が高い。神経科医は、COVID-19 ワクチンの潜在的な神経学的副作用、利益、および接種時期について懸念を抱いている。この研究は、COVID-19 ワクチンと神経系合併症に関する研究を系統的にレビューすることを目的とした。データは Scopus, ISI web of knowledge, Medline, PubMed, Wiley, Embase, International Clinical Trials Registry Platform and Clinical Trials, Cochrane Library, および Google Scholar で検索された。2名の査読者が個々に全論文の表題と抄録を検索して評価した。3人目の評価者は両者の意見の相違を解決した。研究の場所、研究デザイン、合併症の種類、患者数、COVID-19 ワクチンの種類、および神経系合併症の種類に関するデータが記録された。COVID-19 ワクチンと神経学的合併症に関する6つの研究には、mRNA ワクチン接種後の神経症状に関する2つの研究が含まれており、ベクターベースのワクチンの副作用に関する4つの記録が研究に含まれていた。mRNA ワクチンに関連する主な神経系合併症は、体の痛み、知覚異常、歩行困難、遊走性紅斑病変、疲労感、筋肉痛、左三角部外側部の疼痛であった。ベクターベースのワクチンに関連した主な神経系の合併症は、尿閉、摂食と歩行、腕の痛み、軽度の疲労、悪寒、左側顔面の下垂、頭痛、全般てんかん発作、半盲、軽度の失語、急性傾眠と右側不全片麻痺、急性横断性脊髄炎、左下肢の深部静脈血栓症、警戒障害と攣縮、重度のオプソクローヌス性ミオクローヌス症候群、脳炎であった。重度の神経学的に好ましくない状態が広範囲にわたって報告されている。これらの合併症は、分子刺激とその後の神経損傷の結果として発生する可能性がある。一般的に、COVID-19 ワクチン接種の利点は、個人レベルと集団レベルの両方で神経系合併症のリスクに関して優位である。主に新型コロナウイルス株と新型ワクチンが COVID-19 ワクチンに対して技術的に進歩していることから、神経系合併症と COVID-19 ワクチンとの関連性を明らかにするには、今後の研究が必要である。

Keywords: Covid-19 vaccine; complication; neurological; neuron; side effect.

© 2022 Walter de Gruyter GmbH, Berlin/Boston.